

2020年9月1日

## 集中治療室に、入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 低流量経鼻カニューレ酸素投与時の吸入酸素濃度簡易計算式: 高流量経鼻カニューレ酸素投与時の  $PaO_2/FiO_2$  比からの推定

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 竹林玄太 集中治療部 医員

[研究の目的]

低流量経鼻カニューレ(LFNC)を用いた酸素投与では、一般に吸入酸素濃度( $FiO_2$ )は  $0.20 + 0.04 \times$  酸素流量(L/min)で計算する事が多いですが、臨床上予想される酸素化能より高めの評価となることがあります。ハイフローネーザルカニューレ(HFNC)では正確な  $FiO_2$  を設定できるため、酸素投与デバイス切り替え前後の  $PaO_2/FiO_2$  比に基づき、 $FiO_2$  の計算式を検討します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2017年1月1日から2020年7月31日の間に、予定された心臓血管手術後ICUへ入室した患者さん

○利用する検体・診療情報

検体: なし

診療情報: LHNC 使用時の動脈血酸素分圧( $PaO_2$ ) (酸素投与デバイス変更後最初に測定したもの)、HFNC 使用時の  $PaO_2$  (酸素投与デバイス変更前最後に測定したもの)、その時点での設定  $FiO_2$ 、年齢、性別、身長、体重、術式、ICU 滞在時間

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 集中治療部 竹林玄太

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院集中治療部 担当医師 竹林玄太

電話 087-891-2223 FAX 087-891-2224